

講義名	高齢者福祉入門		
科目区分	教養一般		
担当教員	種田 成則		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	25021

主題と概要

わが国は世界一の長寿国になったが、高齢期をいかに豊かに暮らすことができるかが大きな課題となっている。
 本授業では高齢者の身体的、精神的、社会的特性を理解し、そこから生まれてくる高齢期の生活状況の実際や、福祉のニーズ等を知るとともに、高齢者が豊かな高齢期を送るために必要な福祉や関連する制度の概要を学ぶとともに、それらがかかえる課題を考える。

到達目標

- ・わが国の高齢社会の現状について理解し、わが国が抱えている高齢者問題について考えることができるようになる。
- ・高齢者の特性を多角的に理解する。
- ・高齢者を支える福祉や介護のサービスの制度の概要を理解する。
- ・自身の興味や関心のある分野や仕事を高齢者の課題に結び付けて考えることができるようになる。

提出課題

簡易なレポート、小テストなどを授業時間内に行うことがある。

評価の基準

期末試験の成績を重視する。

履修にあたっての注意・助言他

- 【助言】
- ・この授業は、自分が感じ、考え、行動を始めるためのきっかけづくりである。
 - ・能動的な授業参加に勝る学習はありません。

- 【注意】
- ・遅刻、途中退出、私語、携帯電話・メール等は他者への迷惑行為であることを理解すること。そのことが理解できず、それらを繰り返す者には厳しく対処する。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

毎回プリントを配布する

授業計画

- 1 授業の目的と進めかた、授業内容の概観
- 2 高齢社会の現状と高齢者を取りまく課題
- 3 高齢者の理解 加齢にともなうからだの変化
- 4 高齢者の理解 加齢にともなうこころの変化
- 5 認知症の理解 高齢期の社会・経済生活
- 6 高齢者福祉の発展過程
- 7 介護の必要な高齢者の増加と介護問題
- 8 高齢者を支える福祉、介護、医療等の諸制度の理解
- 9 高齢者を支える福祉、介護、医療等の諸制度の理解
- 10 高齢者を支える福祉、介護、医療等の諸制度の理解
- 11 高齢者の住環境と福祉用具
- 12 高齢者福祉産業
- 13 高齢者と家族
- 14 高齢者の就労、社会参加、生きがい
- 15 まとめ

予習・復習

高齢者福祉に関しては、テレビ、新聞、雑誌等さまざまなメディアでたびたび取り上げられているので、それらの内容に関心を持ち、授業内容と関連させて考えることが何よりの復習となる。

備考

授業内容は相互に関連しているため、その関連性について復習すること。また、「高齢者の生活を地域で支える」という視点から、高齢者に関わる地域でのさまざまなとり組みにも興味、関心を深めてほしい。